



学校教育の「これから」を検討しています



子どもの大幅な減少に対応するため、『学校教育の在り方検討委員会』を中心に、小学校の統合再編について具体的な検討を進めています。
(これまでの検討内容は、過去の広報みなのと町ホームページに掲載しています。)



町ホームページ

学校視察・事例研究を行いました

町内・町外の学校を訪問し、授業の様子や施設などを視察しました。
視察校と検討委員の意見の一部を紹介します。



皆野小学校 (6月18日)

- 1学級20人程度で、学習活動に厚みがあり、適正規模だと感じる。
- 児童自身で考えて発表する機会が多く確保されている。
- 図書支援員による本の紹介など、図書室がとても充実している。
- 学校全体に活気があり、児童どうしの交流などの刺激に富み、成長が偏らない。その反面、目立たない児童へ指導が届きづらいのではないかと感じる。

国神小学校 (7月1日)

- 児童一人一人に教員の目が届き、しっかりコミュニケーションできていると思う。
- 地域のかたの協力により、特色ある活動につながっている。
- 複式学級(2・3年生)は、複式としては15人と人数が多く、担任教諭の負担が大きい。
- 町予算で教員を増員して、2・3年生も学年別に授業しており、きめ細かく指導できていると感じた。
- 増員するための教員の人材確保が困難とのことだが、今後ますます人材不足になるのではないかと感じる。

三沢小学校 (6月26日)

- 自然に囲まれ、校内が静かで、児童が落ち着いて授業や活動に取り組んでいる。
- 全学年が複式学級だが、国神小と同様に、学年別授業をしており、きめ細やかな指導ができています。
- 少人数であるために、児童どうしの学び合い、グループ活動などに制約があるのではないかと感じる。
- 地域学習や行事などへの地域の協力が手厚い。良い地域色や伝統を残したい。

長瀬第一小学校(長瀬町) (7月4日)

令和6年4月1日、長瀬第二小学校を統合しました。

長瀬町では、現在、長瀬中学校との小中一貫校を目指して検討を進めています。

- 統合後の児童からは、「新しい友達が増えてうれしい」など肯定的な意見が多く、学校の様子も落ち着いているとのこと。視察時も、児童が落ち着いて過ごしている印象だった。
- 学校に活気があり、授業ではとても前向きに取り組んでいた。
- 統合に際して、教室の大型モニターや、学習机など施設・設備の充実が図られていた。
- 学校の統合再編について、よく検討・協議がなされ、住民や保護者へ情報発信している様子だった。また、統合までの経緯などを詳しく説明していただき、大変参考になった。
- 小中一貫教育を目指していることが、良い推進力を生んでおり、統合後にどんな学校を目指していくのかが重要と実感した。

※10月頃に皆野中学校の視察を予定しています。

※上記のほかにも、他市町村の統合事例などについて研究を進めています。

※検討の状況などについて、今後も引き続きお知らせしていきます。